

# 豪日介護・ウェルビーイング（福祉） フォーラム

参加企業・機関プロフィール

25 NOVEMBER 2016



Australian Government

Australian Trade and Investment Commission



2016年11月25日  
神戸臨床研究情報センター (TRI)  
プログラム

10:30	受付開始
11:00	フォーラム開会式
11:30	ALZHEIMER'S AUSTRALIA(アルツハイマーズ・オーストラリア (ビクトリア) )
11:55	CAMERON CHISHOLM NICOLS(キャメロン・チザム・ニコル)
12:20	LA TROBE UNIVERSITY(ラ・トロブ大学)
12:45	休憩
13:30	CHARLES STURT UNIVERSITY(チャールズ・スタート大学)
13:55	DIVERSICARE(ダイバーシケア)
14:20	HEALTH CAREERS INTERNATIONAL(ヘルス・キャリア (ヘルス・キャリアズ・インターナショナル) )
14:45	CHARLTON BROWN(チャールトン・ブラウン)
15:10	THE IDEAL CONSULTANCY(ザ・アイデアル・コンサルタンシー)
15:35	休憩
15:45	GENBRIDGE(ジェンブリッジ)
16:10	ROYAL DISTRICT NURSING SERVICE (RDNS)(ロイヤル・ディストリクト・ナーシング・サービス)
16:35	Q&A
16:55	閉会
17:30	ビクトリア州政府主催 交流会

主催： 在大阪オーストラリア総領事館

協賛： ビクトリア州政府、ブリスベン市



後援： 神戸市、日本貿易振興機構 神戸貿易情報センター

協力： WHO 健康開発総合研究センター、NPO 法人日本ダイバーショナルセラピー協会、  
一般社団法人 日本ノーリフト協会、一般社団法人 医療国際化推進機構、  
関西公立私立医科大学・医学部連合、一般社団法人MBTコンソーシアム

## ROYAL DISTRICT NURSING SERVICE (RDNS)



RDNSはオーストラリアで最も歴史が長く、多大なリスペクトを集める在宅ヘルスケアのプロバイダーであり、思いやりにあふれた専門的サポートをできる限り多くの人々に届けようと決意しています。創業1885年のRDNSは、オーストラリアやニュージーランドそしてアジアの人々に対し、質の高い臨床看護と在宅ケアサービスを提供する、この分野での先導的立場にある組織です。私どもは毎年2百万回を超える家庭訪問を実施し、10万人以上の人々がより自立した生活が送れるようサポートしています。

2015年、RDNSはクィーンズランド州を基盤とする大手高齢者ケアプロバイダーであるRSL Careと合併することを決定しました。これによりオーストラリア全土のみならず海外においても人々をサポートする能力を備えた、より強大な組織が誕生することになりました。この組織は、人々に健康と福祉そして自立を届ける、非営利高齢者ケアおよびコミュニティヘルスケアのプロバイダーとしてオーストラリア最大のものであります。両者を合わせると、在宅看護やコミュニティサービス、退職者生活支援および在宅高齢者ケアを通じた他に類を見ないケアとサポートの提供において、計200年以上の歴史と受賞歴を持つ組織となります。両者が提携することでRDNSとRSL Careは、健康と福祉の在り方のさらに幅広い選択肢を持つ十分に連続性を持ったサービスをクライアントに提供します。

サービスについて：RDNSは次のような、一貫性及び連続性のあるサポートを提供します。

- 健康と福祉に関連するサービス
- 在宅ケアとコミュニティサービス
- ヘルスケア
- 退職者生活支援
- 在宅高齢者ケア
- 教育（認定、公認訓練機関）RDNSインスティテュートでの研究活動

サービスには、入院回避プログラム（Hospital Avoidance Program：不必要な入院を回避できるような患者を在宅でサポートする制度）、トランジション・ケアそしてリハビリテーションなど幅広い臨床サービスが含まれます。

研究と革新の実践：RDNSは、サービスの品質、クライアント主導による革新、専門教育、研究に基づく実践、コミュニティに対する敏感な対応、水平思考そして他者との協同に対する希求を深く追及することを決意しています。私どもは各パートナーとの研究に学際的かつ協同的に取り組み、研究成果の実践への転化およびエビデンスに基づくトレーニングの実施に重点をおいた活動を行っています。

サービス提供状況（両者合計）：私どもは、国内はもとより海外においてもサービスを提供しています。国内でのクライアント数は以下の通りです。

- コミュニティサービス：10万人以上
- 居住型高齢者ケア施設居住者：2,200人以上
- リタイアメントビレッジ居住者：2,200人以上

## DIVERSICARE



ダイバーシケア（Diversicare）は、1989年にクイーンズランド少数民族コミュニティ協議会（The Ethnic Communities Council of Queensland Ltd [ECCQ]）のコミュニティ・サービス部門として設立されました。異なる言語や文化的背景を持つ高齢者や、障害を持つ若い人々とその介護者に対し、文化の多様性に配慮した自宅サービスを提供してきました。

ダイバーシケアの職員は高い技能を持ち、また、二つの文化に深い理解のあるバイリンガルが揃っていることから、お客様のご要望やご期待に広く応えてまいりました。280名を超える職員のうち、98パーセントが二つの文化に理解のあるバイリンガルで、全体では56か国語に対応しています。

ダイバーシケアが特に重点を置いているのが、正式認可を受けたコースに特化した教育・研修部門です。このような専門コースの例としては、

- 職場における文化的意識を高めるコース：様々な文化的バックグラウンドの雇用者がいる組織で働いている方向けの対話式一日コース
- 健康維持と自立促進および回復を促す介護のコース：すべての介護者向けの、オンライン学習を含んだ対話式一日コース などがあります。

ダイバーシケアの教育・研修チームでは、顧客と協力し合いながら、個々の要望に応じて研修コースを適応させるなど、柔軟な対応でコースを実施しています。コースは25名までのグループで、顧客の自宅や職場で行われます。質の高い研修を制作するには、優れた内容を作ることが必要不可欠であるため、ダイバーシケアでは上記のような専門コースの研究、企画、および授業内容の開発を最優先に考えています。

ダイバーシケアは、認定された研修評価を提供するため、クイーンズランド州最大の登録研修機関（Registered Training Organisation [RTOs]）のひとつと正式なパートナーシップ協定を結んでいます。ダイバーシケアの効果的な授業内容は、参加者を魅了し、学習したことを職場における実際の状況の中で応用し、進んで行動する人材を創ります。

# HEALTH CAREERS INTERNATIONAL



ヘルス・キャリアは、ヘルスケア産業のニーズに適合すると同時に世界の各地でヘルスケアのプロフェッショナルを養成するためのヘルスケア教育プログラムの策定に特化した業務を行っています。最新の技術と協同学習ツールを組み込んだこれらの教育プログラムのもとに、学生にとって魅力あふれる高品質の教育と訓練が提供され、学生たちはその成果を享受しています。

ヘルス・キャリアの創業は2004年で、現在ではメルボルン、シドニー、パース、コーチン（インド）の各キャンパスに加え、インド、フィリピン、中東の各地における提携先教育機関をベースに、職業・高等教育および継続的専門能力開発（CPD）の訓練コースを提供しています。ヘルス・キャリアの教育プログラムは即戦力育成を目的として策定されており、初めてヘルスケア部門で働こうとする初心者のもとより、同部門で働きながらもスキルの向上あるいはスキルの再獲得を目指す有経験者にとっても最適な内容となっています。ヘルス・キャリアは最新の協同学習ツールを用いた高品質の教育、そして患者にさらなる安全とよりよい成果を届けるための教育を提供することを固く決意しています。

ヘルス・キャリアのビジョンは、ヘルスケア教育と研究のグローバルな提供者たることであり、それを達成すべくヘルス・キャリアでは、ヘルスケア産業と緊密に協力しあい、内容あるカリキュラムを複合的かつ柔軟な教育・学習手法を駆使して提供するのみならず、その成果を確実なものとするために看護研究施設での実習訓練とヘルスケア施設における実勤務による訓練を実施しています。このことで学生たちはそれぞれの勉学と実務のバランスを取ることができ、仕事、勉学そして生活は必ず共存できるというのがヘルス・キャリアの信念です。ヘルス・キャリアはまた地方に住む若者にヘルスケア関連の教育とヘルスケア部門で働く機会を用意することで活躍の場を提供することを自らの使命だと考えています。急速に高齢化する社会そして一段と増加するヘルスケアサービスに対する需要を背景に、ヘルス・キャリアは地域社会との協同のもと、健康増進と健康への意識の向上を目指したキャンペーンを促進するとともに、世界を対象に将来のヘルスケア労働力を育成することを目標に活動を続けます。

ヘルス・キャリアおよび当社の教育・訓練プログラムの詳細については[こちら](#)をご覧ください。

## ALZHEIMER'S AUSTRALIA (VICTORIA)

# **FIGHTING ALZHEIMER'S FOR AUSTRALIA**

**FIGHTDEMENTIA.ORG.AU**

### 組織について：

アルツハイマーズ・オーストラリア（ビクトリア）は、認知症関連においてビクトリア州を代表する機関であり、認知症のタイプや患者の年齢にかかわらず、ビクトリア州に居住するすべての認知症患者とその家族および介護者を対象に教育、サポート、擁護、情報を提供しています。私どもはアルツハイマーズ・オーストラリア連盟の一員です。

### 活動について：

私どもは日々の生活のなかで認知症がもたらす困難に対処しようとする認知症患者とその家族および介護者を支援する活動を行っています。健康、障害そして高齢者ケアの専門家との協力のもと、私どもは認知症ケアのベストプラクティスを提供できるよう努力しています。私どもはまた、認知症のリスクを軽減するために健康なライフスタイルを維持することがいかに役立つかということについて、また認知症そのものに関して地域社会に対する啓蒙活動を行っています。

### 学習サービス：

私共は受賞歴のある「バーチャル認知症体験」を含む様々な学習サービスを提供しています。

- 専門家向け教育：様々なケア環境下で認知症患者を支援する健康、障害および高齢者ケア専門家や直接的介護スタッフを対象とした教育プログラム
- 認定教育：「認知症ケアエッセンシャルズ」や「サーティフィケートIV ディメンシア・プラクティス」などを含め、公認訓練機関として私どもが認知症患者のケアを実践する専門家向けに提供する、国家認定を受けた教育プログラム
- コミュニティ教育：地域社会におけるグループや団体を対象とした教育プログラム

### 認知症コンサルタンシー：

アルツハイマーズオーストラリア（ビクトリア）は、認知症フレンドリーな環境の構築、認知症ケアおよびケア文化における改善の追及などを含む、様々な分野を対象としたコンサルティングサービスを提供しており、各クライアントがこのコンサルティングを通して、人中心かつ最良の認知症ケアを実践できるよう支援しています。私どものスタッフは、広範な専門知識と技術を駆使するとともに認知症ケアにおいて個々の人を尊重するアプローチを用いながら、各クライアントと時には長時間にわたり、時には短時間でのコンサルティングを提供することでより良いケア文化の構築を目指しています。



1989年に創立されたチャールズ・スタート大学（CSU）は、オーストラリアの各地方に多様なキャンパス構成を持つ教育機関で、過去25年間に教育と応用研究に対する革新的なアプローチでよく知られるダイナミックで進歩的な大学へと成長を遂げました。CSUはその柔軟な教育手法と国際的にも評価の高いオンライン学習によって、オーストラリア国内はもとより世界に対しても勉学の機会を広く提供しています。

CSUは卓越した高等教育機関であるべくたゆまぬ努力を続けています。教官は関連産業部門で実践的な経験を積んだ専任のプロフェッショナルであり、彼らが施す他に類を見ない教育に対して当然ながら高い評価を勝ち得ています。CSUでは、産業界のニーズに適合したスキルを学生が獲得できるよう、実際にケア業務に携わる一連の専門家の協力を仰ぎながら教科課程の設定を行っています。そのため当大学は卒業生の就職率の高さで常に上位にランクされています。

CSUでは、老年学のグラジュエート・サーティフィケートや健康科学のバチェラー（余暇と健康）など、高齢者ケアと福祉のスペシャリスト養成のためのオンラインコースを提供しています。またこれにはオーストラリア・ダイバーショナル・セラピー協会認定のダイバーショナル・セラピー・コースも含まれています。CSUはダイバーショナル・セラピスト養成機関としてオーストラリアを先導する存在です。卒業生の中にはダイナミック・プラクティショナーとして介護施設やコミュニティケア施設に勤務するものもいます。彼らは高齢者が余暇を楽しむための質の高いプログラムを策定・実践することで、高齢者の生活の質と同時にこれらの施設におけるケアの質の向上に貢献しています。当大学の卒業生はまた、例えばリレーショナル・ケア（人同士の関わりあいを重視したケア）の実践モデル導入など、ケアが提供される場に従来とは異なる変化をもたらしています。その効果は職場におけるスタッフの満足度の向上、スタッフの移動率低下、それにともなうケア提供事業者の財務体質の改善となって表れています。

CSUは日本の教育機関や介護団体との連携に基づいてダイバーショナルセラピー教育を日本においても展開する機会を求めています。



ラ・トロブ大学は、世界の50年に満たない若い大学の中でトップ100に入っており、オーストラリアでは歴史学、考古学、古典研究でトップ10にランクインしています。また、世界でもコミュニケーション、メディア論、言語学および社会学でトップ100入りをしています。ラ・トロブ大学の在るメルボルンは、過去5年にわたり「世界で最も住みやすい街\*」に選ばれ、学生都市としても現在世界第二位にランキングされています。

\*\* ラ・トロブ大学は、特に現代における数々の深刻な課題を解決する研究に重点を置いています。

ラ・トロブ分子化学研究所やアグリバイオ科学センター等の施設の科学者たちは、病気と闘い、健全な高齢化を確かなものにし、オーストラリアの農業への脅威となる気候変動や干ばつなどに立ち向かう新しい方法を探求し続けています。ラ・トロブ大学の課程では、職業経験を特に重要視しており、学生たちは豪州科学・工業研究機構（CSIRO）やオーストラリアン・シンクロトン社、デロイト社、また大学のパートナーである病院などの団体・企業で実務経験を得ることができます。また、テレビのスタジオや考古学の訓練用採掘場、模擬法廷などの施設で実践的なトレーニングが受けられるほか、ヴィクトリア州の高山植物自然保護区域のような場所で校外学習を行います。

ラ・トロブ大学では、学生たちが上海で法学を、東京でナノテクノロジーを、メキシコで考古学を、そしてスリランカでは都市計画を学ぶなど、海外留学プログラムに参加することを奨励しています。2014年には、852名の学部生および大学院生がミシガン州立大学やエセックス大学などパートナー関係にある大学で学ぶための旅費助成金や奨学金を獲得しました。

ラ・トロブ大学には、ヴィクトリア州とニューサウスウェールズ州に8つのキャンパスがあり、ヴィクトリア州の地域では最も大きな大学教育提供機関です。ラ・トロブ大学の卒業生は170,000名以上に上り、その中には経営者、国会議員、人権活動家、医学研究者やオリンピック選手などもいます。

\* 2015世界の住みやすさランキング、エコノミスト・インテリジェンス・ユニット

\*\* QS学生都市ベストランキング



## THE IDEAL CONSULTANCY



ザ・アイデアル・コンサルタンシーはヘルスケア、リタイアメントケア、高齢者ケアおよびコミュニティケアの部門でアドバイスとサポートを提供する専門サービスコンサルタント会社です。アイデアルのスタッフが有するビジネスおよび臨床の分野における経験は他に類を見ないほど充実したもので、ヘルスおよび高齢者ケア分野の造詣の深さを基盤に当社は、ケアサービスを提供する企業や団体が直面する、健全な財務体質を維持しつつ最高水準のケアを提供するという複雑かつ難しい課題を理解する能力を有しています。

アイデアルは、ますます競争が激化する市場環境のなかで操業し成長し続けるという難題に企業や団体が取り組むことができるよう、その体質を強化することに重点が置いたサービスを提供しています。当社のサービスには、戦略的計画立案、業務内容の分析、操業体制の見直し、業績改善、ビジネスマーケティング、消費者との対話、問題解決そしてビジネスの成長戦略実施が含まれます。

クライアントが知識と技術を獲得できるよう、当社は常にクライアントとの協同作業を行います。それにはサービス利用に関するしっかりとした予測モデルの構築とクライアントの組織内で知識が広く共有されるようにするためのツールの開発が含まれます。当社ではまずクライアントと緊密な関係を構築します。そしてそのなかでクライアントの組織文化、ニーズおよび将来に向けての目標に合ったサービスを工夫し提供します。当社は関連業界を内側から理解するだけでなく、外部目線による独自の識見とビジネス情報を提供することができます。そのためクライアント各社は、信頼に足るパートナーと組んでいるという自信と安心感を覚えるのです。

ザ・アイデアル・コンサルタンシーはヘルスケアおよび高齢者ケアの分野における難しい課題に対する斬新なソリューションを開発するとともに、様々な企業や団体に対して戦略、運営、変更管理といった側面についてのアドバイスとサポートを提供しています。当社のクライアントにはオーストラリアでも最大規模（上場企業を含む）のサービスプロバイダー、非営利団体、そして政府機関が含まれています。当社は健康関連産業部門においてビジネスを構築、経営、そして成功させるうえでのあらゆる重要な面に関してサービスを提供しています。

当社は中国、インド、英国およびアメリカ合衆国向けの産業視察ツアーに参加するなど、イノベーションに関して先頭に立ち、海外でのベストプラクティス追及に投資しています。ザ・アイデアル・コンサルタンシーのビジネスおよび臨床面を基盤としたソリューションは、事業の実施と計画の最善化を図ることを可能にします。

## CAMERON CHISHOLM NICOL



キャメロン・チザム・ニコルは、受賞歴を持つ、建築設計、都市設計そしてインテリアデザインの分野における先導的企業です。西オーストラリア州でもっともリスペクトを集める事業者の一つである当社は広範な顧客リストを保有しており、経済的持続性、環境面での持続性そして社会的持続性のバランスが取れた、革新的なデザインを生み出すことで高い評価を得ています。当社は価格にして1千万ドルから5億5千万ドルにわたるプロジェクトを手掛けています。2012年には、パース・アリーナという名の5億5千万ドルプロジェクト（ARM Architectsとの合弁プロジェクト）により、オーストラリアの建築界で最も権威あるサー・ゼルマン・コーウェン賞を受賞しました。より最近では、集合型住宅のデザインで優秀賞を獲得しています。

人口における高齢者の割合が大きくなりつつある現在、当社も高齢者ケア部門に注目しています。当社は西オーストラリア州における高齢者ケアやリタイアメント・リビング関連の設計の分野で先端を行く存在であり、政府、地方自治体や著名なディベロッパー各社と協力しながら、地域一帯における主要な施設の開発というビジョンを実現すべく努力を続けています。

当社はクライアントがより高品質なケアを提供できると同時に高齢者が健康で活気にあふれ地域のコミュニティとの調和のとれた生活を送ることができる次世代施設の設計を手掛けています。品質の向上が常に求められる消費者主導の市場にあって、当社が集合住宅、ヘルスケア、ホスピタリティの各部門で培ってきた経験は、ますます大きな流れとなりつつある高齢者ケアのトレンドにまさに適合するものとなっています。融通性にとんだ居住空間、リゾートスタイルの施設そして最新技術を備えた医療施設は、すべて当社が提供するサービスのポートフォリオに含まれています。当社の仕事を特徴づけるのは、新規技術を使用し、個人それぞれの福祉に対して心身一体的アプローチを取りながら、新たに出現するケアのモデルについて綿密に研究する姿勢です。

現在当社が取り組んでいるプロジェクトの中には、居住型高齢者ケアの物件、多層型リタイアメント・リビング・ビレッジ、認知症や緩和ケア患者を居住者とするフレキシブル高齢者ケアセンターなどが含まれています。キャメロン・チザム・ニコルは、日本の高齢者ケア、退職者支援サービスなどのプロバイダーと協力し、ともに将来に向けてのビジョンを達成する機会を求めています。

## CHARLTON BROWN

CHARLTON BROWN®

*we train we place we care*

チャールトン・ブラウン (CHARLTON BROWN)

1985年に設立されたチャールトン・ブラウンは受賞歴を持つ公認訓練機関で、高齢者ケア、チャイルドケア、障害者ケア、ユースワークなどのコミュニティサービスに関する訓練を国内はもとより海外においても提供し、この分野で先導的役割を果たしています。修了証明から高度専門士に至るまでの27におよぶ国家認定資格のコースがあります。チャールトン・ブラウンには、各種ケアやコミュニティサービス業界での職歴があり情熱をもって取り組む教官を揃えており、これらの業界で即戦力として働ける能力を身に付けた卒業生を送り出しています。チャールトン・ブラウンは、ブリスベンの中心業務地区に徒歩で行けるチャイナタウンの中央部ートレンディなフォーティチュードバレーにあり、自転車、電車、バス、フェリーなどによる通学も容易に行える立地を誇ります。

チャールトン・ブラウン・エージェンシー&CBケアはチャールトン・ブラウンで学ぶ学生に、それぞれのビザの条件に見合ったパートタイム雇用の機会を提供しています。チャールトン・ブラウン・ファウンデーションが実施するグローバル・リンケージ・プログラムによって学生は、日本、中国、インド、スリランカ、ベトナム、香港、フィリピンのコミュニティサービス団体で働く機会を得ることができ、各団体のサービスの質の向上に貢献しながら同時に単位をも獲得することができます。チャールトン・ブラウンはまた2016年4月ゴールドコーストにおいて、国内外のスピーカーや代表団を招いての国際福祉サミットを主催しました。これは2013年日本において社会福祉法人伸こう福祉会が開催した国際福祉サミットに次ぐ第2回目のイベントで、それを2016年にオーストラリアで開催するにあたり、主催者としてチャールトン・ブラウンが選ばれたものです。この会議の目的は、世界における急速な人口高齢化への対応を話し合い、とりわけ高齢化に関する責任とケアのバランスをいかに取るかという点を討議することにあります。韓国、アメリカ合衆国、中国、日本、デンマークそしてオーストラリアの代表団が一堂に会し、高齢化への対処についての知識を共有するとともに新しい実践手法について話し合う場が設けられました。会議では、7人を超える海外からのスピーカー、オーストラリア国内のスピーカーが7人、それに20人のパネリストと進行役により、緩和ケア、認知症ケア、ロボット工学を含む技術、教育そしてコミュニティサービスの分野を主題として活発な議論が行われました。

GENBRIDGE

genbridge



ジェンブリッジ（Genbridge）は、ヘルス、高齢者介護、地域ケア、シニアリビングと言った、様々な高齢者対策の分野で国内外の企業に的確なアドバイスやコンサルティング、リサーチや分析を行うアドバイザー企業です。ジェンブリッジのグループ会社には、ノーベルライフ（Nobel Life）社およびガートナー・ヘミングウェイ（Gartner Hemmingway）社が含まれており、これらの会社は高齢者介護施設の運営管理、高齢者向け高層ビル開発における不動産およびサービス管理を含めた、高齢者住宅の運営管理を行っています。

ジェンブリッジの近年のプロジェクトのひとつは、ゴールドコーストで高齢者住宅として開発された35階建て複合高層ビル内に、ノーベルライフの名のもとで高齢者介護施設を設立したことです。ジェンブリッジがセットアップしたその高齢者介護施設は、政府によるアクレディテーション（サービス提供認可）において、最高の品質であることを意味する最長の3年認可を達成しています。また現在は、グループ会社が同じ高層ビルで220戸の高齢者住宅（マンション）を管理しています。ゴールドコーストの中心地に位置するこの高層ビルは、ビーチ、ショッピングエリア、医療施設、公共交通機関に近く、家族も入居者を容易に訪問することができます。この高層ビル開発は、オーストラリアで初めての高層ビル高齢者住宅と高齢者介護施設であり、都会における新たなシニアリビングの形として注目を集めています。

ジェンブリッジ社およびその社長は、日本と強力な絆を築き上げてきています。社長のロス・ハンフリーズ氏は前全国豪日協会連盟会長であり、日豪関係に尽力したことが認められ平成19年度外務大臣表彰を受賞しているだけでなく、ブリスベン市姉妹都市運営委員会の委員長であり、神戸市担当として神戸とブリスベンの関係強化に力を注いでいます。彼は、高齢者介護やIT分野で多くの日本企業にアドバイスを提供するだけでなく、日本で事業を展開していたスウェーデンの会社にもアドバイスをを行ってきました。彼はまた、高齢者介護サービスにおけるプロ集団組織である Australian Masters of Aged Care Services (AMACS)代表でもあります。

ジェンブリッジのもう一人の取締役であるジュディス

ドン氏は、ゴールドコーストの高層ビルに設立した高齢者介護施設、ノーベルライフの運営管理責任者としてチームを率い、新規施設を軌道に乗せることに成功しました。ノーベルライフは入居者とその家族、スタッフの満足度も非常に高く、政府から3年の営業認可を受けています。彼女はそれ以前に、中東（カタール）で依存度の高い術後ケアや40床の日帰り病床、7つの手術室スイートを含む、600床の公立病院のCEOとして、医療、外科サービス担当のエグゼクティブディレクター達を統率していました。